

「超」入門シリーズ1

浅沼 璞

「超」連句入門

東京文献センター



「超」連句入門

東京文献センター

著者略歴

浅沼 璞（あさぬま・はく） 本名 博
昭和32年（1957）、東京都生まれ
法政大学文学部日本文学科卒
現在 俳文学会 江古田文学会 連句協会 各会員
著書 『可能性としての連句』（ワイズ出版）
『中層連句宣言』（北栄社）
共著 『21世紀俳句ガイドンス』（邑書林）
『現代俳句ハンドブック』（雄山閣出版）ほか

「超」入門シリーズ 1

「超」連句入門

発行 平成12年10月28日

著者 浅沼 璞
発行者 初澤 イセ子

発行所 有限会社東京文献センター
〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-16-2-404
振替 00120-7-415043

電話03-3299-3857 FAX03-5358-3287

印刷 株式会社厚德社 製本 有限会社篠崎製本所

定価はカバーに表示してあります。本書の全部または一部の複写・複製・転記載および磁気または光記録媒体への入力等を禁じます。これらの許諾については小社までご照会下さい。

© 2000<検印省略> 落丁・乱丁本はお取替いたします。
Print in Japan ISBN 4-925187-15-5 C0092

1,500円

序

福田 眞久

時あたかも二十一世紀を迎えんとしている二〇〇〇年十月七日に、わたしの発案による世界で最初の本格的な連句の国際会議である地球連句シンポジウムが開催され、著者はその主要メンバーとして計画の推進に参画した。

連句は日本ばかりのものではなく、すでにアメリカでは俳句詩人たちの間で、イメージ展開の文芸として、付けと転じをかなり感覚的に楽しんでいる。また、日本人やアメリカ人などで外国人と文音やインターネットを利用して連句を楽しんでいる人達がいる。このように連句は地球的規模で行われている。

本書の著者浅沼璞氏は、すでに『可能性としての連句』（一九九六年）と『中層連句宣言』（二〇〇〇年）、さらに今回の『超』連句入門』と華々しく活躍している、連句の若手ホープの理論派である。その都度文芸界の話題をさらっている。

そのすぐれた詩才と感性は師の眞鍋呉夫（天魚）氏の骨をしゃぶり、磨かれた。そして、著者は連句人（レンキスト）の拡大を目指し、ユニークな「オン座六句」という新形式を提唱して、現代連句の普及を志している。

本書は著者の「まえがき」にもあるように、捌き養成の目的よりも、連句する人の視点から共同

文芸として如何に楽しく作るかという立場から説いている。従来の連句入門書とは大きな違いがあり、幅広い年齢相に読まれるであろう。

本書は広く連句人とその仲間入りをしたいと思っている人達と、世界人類に対する二十世紀最後の贈り物であると言っても過言ではない。

まえがき

——レンキストのために

本書の「超」連句入門というタイトルは、おおよそ二つの意味をふくんでいます。つまり「超」という言葉は、それにつづく「連句」と「入門」とにそれぞれかかっているわけです。

まずは「超」連句の入門書という意味についてのべます。一般的に「連句」とは、近世文学の主流ジャンルであった「俳諧之連歌」の、その近代的な呼び名としてあつかわれています。ときどき「俳諧連句」という呼び名を目にし、耳にすることがありますが、それは前近代（俳諧）と近代（連句）をドッキングさせた現代的な呼び名といつてよいでしょう。いずれにしても「俳諧」が「連句」の原義であることは確かなわけで、今まで刊行された連句入門のほとんどが、そのまま俳諧入門であったのはそのことによるでしょう。ですから「超」連句の入門書とは、俳諧を超えた（ということ）は正岡子規の連句否定を超えた、現代連句の入門書という意味をもつ必要があるでしょう。すでに連句は連句として、俳諧を超えた時空で創作されてきた歴史をもっています。それらを手本（テキスト）として本書は編まれているのです。

さて、つぎに連句の「超」入門という意味についてのべます。「俳諧」には、長い間に繁雑になったルール（式目）が多くあります。それを捌くのが宗匠と呼ばれる存在ですが、現代では宗匠的な役割をになう人を、そのものズバリ「捌」といいます。「連句」と名前は変わっても、俳諧の煩瑣な式目はまだのこっているのです（本書にもそれは反映されています）。いきおい従来の入門

書は、その「捌」を養成することを最終的な目的としている場合がほとんどだったように思われます。しかし連句に興味をもつ人の多くは、「捌」よりもまずは連句作者（連衆^{れんじゆう}）になることを希望するのではないでしょうか。ぼくは連句人（レンキスト）という言葉を使っています。この「超」入門は、レンキストをめざすイッパンの初心者を対象としているのです。本書第二部の鑑賞が、一卷全体でなく、「三句のわたり」に照準をあわせているのはそのためです。「現代連句における「捌」の存在に興味のあるむきは、第三部の対談を参照してください。」

またさらに付けくわえれば、連句にかぎらず世の入門書にありがちな、箇条書きの紋切り型をなるべく避け、読んで興のわく本をめざしました。その意味からも「超」入門といえましょう。もっとも実際にそうなっているかどうかは、読者の方々の「読み」にゆだねるほかありませんが。

とまれ、俳諧を捌くための紋切り型「入門」ではなく、現代レンキストのための入門書的「読み物」として、ひとりでも多くの方々にこの本を楽しんで頂ければ幸いです。

平成十二（二〇〇〇）年五月吉日

横浜曳尾庵^{えいりあん}にて

浅沼 璞

※文中の敬称については、故人であると否とを問わず全て省略しました。たとえば「芭蕉」と呼び捨てにしながら「某氏」と書くことには抵抗があったためです。

目次

序	福田 眞久	1
---	-------	---

まえがき	レンキストのために	3
------	-----------	---

第一部 連句概要

I 現代連句の意義	15
-----------	----

俳句と川柳のルーツは連句	色川武大の名言こそ連句	高柳重信の連句への思い
--------------	-------------	-------------

II 一句について	21
-----------	----

チョーキングにタンキング	王朝和歌の蜃気楼	山頭火・放哉の「自由律」短句
--------------	----------	----------------

III 付合について	27
------------	----

寺山修司「現代の連歌」	中層のブラックバスをゲットせよ	独吟両吟苦吟難吟
阿部青鞋VS渡邊白泉		

IV 三句のわたりについて	37
---------------	----

第三の男・三橋敏雄	寺田寅彦は隔世遺伝といった	ジタバタしよう
エクリチュールで「ぬけ」	偶然、必然、飯の終止符	

V 一卷全体の構成について	47
---------------	----

面から連へ	現代的諸形式	オン座六句
-------	--------	-------

第二部 三句のわたり鑑賞

I 現代連句の前ぶれ	61
------------	----

井月の場合	無限と有限	多層性について
-------	-------	---------

II 恋の句	67
--------	----

恋の仕掛人	ストーカー行為規制法	ノストラダムスの付合	発句で恋
-------	------------	------------	------

III 月の座	75
---------	----

脇の月	月はオールシーズン	投げ込み・噂のエクリチュール
-----	-----------	----------------

中層の月	月を星に
------	------

IV 花の座	83
--------	----

地球連句の花	挙句の呼び出し	花へ気移り	花と月	花のノイズ
--------	---------	-------	-----	-------

V 時事句	91
-------	----

連句誌『れぎおん』	第二次世界大戦	核実験	阪神淡路大震災
-----------	---------	-----	---------

VI 現代の試み	97
----------	----

眞鍋天魚の異物	座による無心所着	自由律オン座六句	病体癒す連句パワー
最短三つ物	ムキになつて考えよう		

VII サンプリング	107
------------	-----

換骨奪胎	つげ義春で「脇起り」	そのままサンプリング
共同で架空連句		

VIII 「超」ジャンル	118
--------------	-----

廣末保の指摘	大手拓次の詩	高柳重信の多行俳句	チェーホフの台詞
マイク・スターンのギター	小津安二郎の映画		

第三部 連句問答

I 郵便的、薫風連句	129
------------	-----

II 対談・窪田薫	131
「捌」をめぐる	連句のテイクオフ
とめがき	地球連句へむけて
オン座六句『連句年』	141
主要参考文献	151
連絡先一覧	152
用語索引	153

装丁・篠崎丈夫

「超」連句入門

第一部 連句概要

